



STOP 糖尿病

糖尿病ケア通信第9号 2021.1. 18 発行

インスリン療法を行っている患者の場合低血糖が単独で起きていることもあれば、複数の要因が重なって起きていることもあります。

【インスリン療法中の低血糖の原因】

1. 食事による影響

食事摂取量(特に糖質)が少ない時や食事摂取時間が遅れた時



2. インスリン効果値の変化

ストレスや運動、シックデイなどで変化する。インスリン効果値が下がれば高血糖をおこしやすく、インスリン効果値が上がれば低血糖をおこしやすくなる。

運動しているときや運動後 2~3 日はインスリン効果値が上がり、低血糖をおこしやすくなる。

3. インスリン製剤の投与量

誤って多く打ってしまうと低血糖がおこる。



4. インスリン分泌促進系の薬剤との併用(BOT)

インスリン製剤とスルホニル尿素薬(アマリール等)や速攻型インスリン分泌促進薬(ファスティック、ナテグリニド等)と併用することで低血糖を増やす可能性がある。

5. インクレチン関連薬との併用

インスリン製剤と GLP-1 受容体作動薬(ビクトーザ、トルリシティ)との併用



焼肉を食べた後に低血糖がおこることがある。

この原因は「食事による影響」と「インスリン製剤の投与量」が考えられます。焼肉は脂質量が多く、糖の吸収が遅れます。糖質摂取量にみあったインスリン製剤が打っているか確認が必要です。



この原因は「インスリン効果値の変化」があり、「インスリン製剤の投与量」も否定できません。運動効果でインスリン効果値が高くなり、インスリンが過剰になり効果が出やすくなっていた可能性や、糖質量を見誤り過剰なインスリン製剤をうったなどが考えられます。

ハイキング中に低血糖はおこらなかったが、その日の夜中に低血糖がおこった。

